

リックからワクワク情報が満載！ 【ワクワクリック】

Waku Waku Lic

Vol.92



The 44th JAPANTEX2025 INTERIOR TREND SHOW REPORT



今年も盛況のうちに閉幕した『ジャパンテックス2025』。実際に足を運んで見てきた展示の中から、印象的だったポイントをピックアップしてお届けします。



東リが獲得した「GOOD DESIGN賞」受賞製品コーナーでは、開発に至るクリエイティブな話を聞く事もできました。

YEP!



会場では、実際の「ブラシ」を手に、スウィーピングを体験しながら、足型シートに乗って滑るような感覚を味わうことができました。

東リブースは開放的なつくりで入りやすく、オーロラ色のグラデーションボイル(TKF11663)が通路とブースをやさしく間仕切り、軽やかな演出が印象的でした。ボイルの奥は、ショールームのように仕立てられたオーダーカーテン『fufu』の展示スペースが広がり、来場者の皆様がつろいでいました。さらに注目を集めていたのが、東リが開発した各種スポーツ用床材の紹介です。屋内スポーツ施設向けの衝撃吸収性ビニル床シート「アリーナフィット」、バレーボール競技専用フロアマット「コネクトマット」、卓球用フロアマット「コネクトマットT」、松山バレエ団と共同開発した舞台用ビニル床シート「TMフロア」など、幅広いラインアップが紹介されていました。これらのスポーツ用床材の他に、体感コーナーが設置されていた製品が、カーリング練習用シート「スウィパリーシート」。東リと公益社団法人日本カーリング協会が協力し、カーリングの基本動作である「スウィープ」と「デリバリー」の室内練習を想定して開発されました。特殊配合樹脂に独自開発の表面凸凹形状を組み合わせることで、アイスリンクの感覚を再現した「滑る床材」です。平坦な場所に広げるだけで、「スウィープ」と「デリバリー」の練習が行えます。

KAWASHIMA SELKON 株式会社川島織物セルコン

“Radiance & Textile -光が織りなす空間-”をテーマに、ファブリックコレクション『Sumiko Honda』のアートワークや、光を取り入れた新たな演出がとても印象的でした。また、会場内のインテリアトレンドスクエアでは、大阪・関西万博の迎賓館に協賛し同社が制作した、高さ200cm×幅900cmの特別タペストリーが展示。迎賓館は一般公開されていないため、この場で実物を見られたことは、非常に貴重でプレミアムな体験となりました。



大阪・関西万博の迎賓館を彩ったタペストリー。



ひととき強い存在感を放つ「Sumiko Honda」のアートワーク。

sangetsu 株式会社サンゲツ

サンゲツのブースは“共鳴 RESONANCE -響きあう空間を、サンゲツマテリアルが調律する-”というテーマで展示提案がおこなわれていました。特に目を引いたのが、紙や土、貝殻などの天然素材をこだわりの技術で壁装材に仕上げた、TEXTURE & MATERIAL (自然素材の壁紙)。華美さを排した静謐な質感と、そこに宿る色彩の表情が、深く心に沁み入りました。



TOPICS

「壁を装う展 - Wall Covering and Beyond」

サンゲツはJAPANTEX2025の開催とは別で、一般ユーザー向けの展示会『壁を装う展 - Wall Covering and Beyond』(12月5日まで)を開催していました。本展では、サンゲツがこれまで手がけてきた数万点におよぶ壁紙のアーカイブを起点に、「素材」「光」「時間」「空間」などをテーマに展示。コンテンポラリーデザインスタジオ「we+ (ウィープラス)」とともに、壁装材をデザインと文化の視点から再解釈するリサーチプロジェクトとして構成されていました。



窓廻り主要メーカー3社



立川ブラインド工業株式会社



タチカワブラインドのブースで、特に反響が大きいとご紹介いただいたのが調光タテ型ブラインド『エアレ』。製品幅6mまで可能な『レールジョイント仕様』の紹介や、L字型窓に対応し隙間を最小限に抑える『コーナー取付仕様』が展示されており、高級マンションなどでの採用が多いとのことでした。



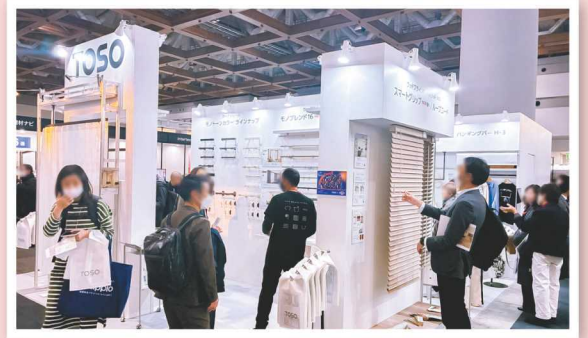
株式会社ニチベイ



ニチベイのブースでは、スマートコード式の製品を集めたブースが大変な賑わいを見せていました。ニチベイでは、小さなお子様やペットがいるご家庭でも安心してご使用いただけるよう、1本のコードで簡単に操作可能な安心安全設計の操作方式「スマートコード式」の操作を多数の機種にラインアップしています。住宅はもちろん、保育園や児童施設など、安全が最優先されるシーンでの採用が増えているとの事です。



トーソー株式会社



トーソーのブースで特に目を引いたのは、電動カーテンレール『レガートコモ』。コンパクトな本体で存在感を抑えつつ、リモコンは洗練されたデザインで、Cタイプの差込で充電が可能です。また、ハンギングバーシリーズやランドリーバーの展示も賑わいを見せており、幅広いラインアップが注目を集めていました。



東亜コルク



先日盛況のうちに閉幕し、大阪・関西万博のポルトガル館でもコルク製品を紹介していた東亜コルク。環境にやさしい素材を扱うメーカーとして、ブース内は終始多くの来場者で賑わっていました。コルク製品にはポルトガル原産のコルク樫を多く使用されており、樹皮を採取しても9～10年周期で再生するため、自然環境を守りながら持続可能な製造サイクルを実現しています。さらに、樹皮を採取したコルク樫は再生の過程で通常の3～5倍ものCO₂を吸収するといわれており、非常に環境負荷の少ない素材として注目を集めています。



大阪・関西万博の模様

大阪・関西万博の
詳しい様子はこちら



第36回 ジェイシフ全国技能競技大会

全国から集まった床材・壁装材の技能員が腕を競う、「全国技能競技大会」が開催されました。会場では、匠の技を間近で見る事ができ、大変貴重な機会となりました。床仕上げ競技には、16名の優秀な床職人が集結し、日頃磨き上げた技術を披露しました。

栄えある床仕上げ競技の優勝は、当社でも施工をご依頼することのある坂井陽人さん(所属:(株)ファインプレー)が受賞。

続いて、準優勝は竹内聡さん(所属:(株)夏月堂)、3位は小出哲也さん(所属:(株)岩野商会)、そして敢闘賞(全国建設産業教育訓練協会会長賞)には久野広太さん(所属:(株)高野)が選ばれました。しかし、今回ご出場された皆さまは、この舞台に立つだけでも高度な技能を備えた一流の職人であることを示しており、心より敬意を表します。

当社リックの所属にて出場いただいた福田勇一さん。
気合と温かい人柄が伝わる、すてきな笑顔で挑戦！

